

はじめに

このたび、大阪国際空港周辺地域活性化連絡会では、大阪国際空港や航空機、その周辺地域のことをもっと良く知っていただき、空港や地域の活性化に役立てたいと、この冊子を発行することにしました。

この冊子は、写真やイラストなどを多く使い、お子さんから大人まで分かりやすいようにと編集させていただきましたので、みなさまにご愛読いただければ幸いです。

航空機に搭乗する、航空機を見る、おいしいものを食べる、買い物をする、目的はそれぞれ違って、繰り返し利用したくなる、それが大阪国際空港です。

目次

大阪国際空港のあらまし	3
空港ターミナルに行こう!	4
大阪国際空港ターミナルでの楽しいイベント	6
交通アクセス	7
航空路線	8
航空機の移り変わり	9
航空機がよく見えるスポット	10
航空機の見分け方	11
航空機騒音と環境対策	12
守っています。空の安全を!	14
パイロット	15
空の交通整理 - 航空管制官	16
航空機にお天気は、とっても大事	17
空港で働く車と働く人たち	18
航空旅客数の移り変わり	20
空港と経済	21
建築物の高さ制限	22
周辺地域の見どころ	23
池田市 (インスタントラーメン発祥の地)	
伊丹市 (清酒発祥の地)	
川西市 (源氏発祥の地)	
吹田市 (日本万国博覧会開催の地)	
宝塚市 (歌劇のまち「タカラヅカ」)	
豊中市 (高校野球発祥の地)	
箕面市 (空港から30分のオアシス)	
空港なんでもランキング第1位	31
関西国際空港との経営統合	
電話番号案内	



アメリカ軍が「伊丹エアベース」と呼んでいた名残りで、「伊丹空港」とよばれているのよ。

内陸にあるので津波にも強いし、霧も発生しにくく、悪天候による欠航が非常に少ない空港なんじゃ!

大阪国際空港と関空が経営統合したね。ますます便利になるといいね。

平成22年3月、3,081m 上空から撮影 大阪港湾・空港整備事務所提供

大阪国際空港の概要

空港面積 315 ha 標高 12m
 滑走路 A滑走路 長さ 1,828m×幅 45m
 B滑走路 長さ 3,000m×幅 60m
 運用時間 14時間(7:00~21:00)
 発着規制 370回/日
 (注) 定期便1機の着陸・離陸で2回の発着となります。



昭和22年(1947年)当時

大阪国際空港のあらまし

伊丹市・豊中市・池田市にまたがる大阪国際空港は、大阪市・神戸市・京都市などから近く、便利な空港です。

国内線の基幹空港であるとともに、イベントなどができるアミューズメント性も兼ね備えており、人・物・情報の交流や地域の発展に重要な役割を担っています。

また、平成7年(1995年)1月に発生した阪神・淡路大震災や平成23年(2011年)3月に発生した東日本大震災には、救助隊員や救援物資の輸送に活躍しました。

- 昭和14年(1939年) 大阪第二飛行場として開設(大阪市大正区の大阪飛行場より移転)
- 昭和20年(1945年) アメリカ軍が接收、伊丹航空基地に
- 昭和33年(1958年) 全面返還、大阪空港として告示
- 昭和34年(1959年) 大阪国際空港に名称変更
- 昭和35年(1960年) 国際線(香港便)乗り入れ開始
- 昭和39年(1964年) ジェット旅客機が就航
- 昭和44年(1969年) 航空機騒音訴訟~昭和59年終結(調停:昭和48年~61年成立)
- 昭和45年(1970年) B滑走路(長さ3,000m)の供用開始
- 平成2年(1990年) 大阪国際空港の存続協定を締結(国と11市協等)
- 平成6年(1994年) 関西国際空港の開港で国際線等を移管
- 平成9年(1997年) 大阪モノレールが乗り入れ開始
- 平成23年(2011年) 関西国際空港との経営統合が成立
- 平成24年(2012年) 関西国際空港と大阪国際空港が経営統合